

# 北区の景況

令和4年10月～令和4年12月期

調査対象 製造業 96社 小売業 59社  
サービス業 26社 建設業 32社

調査方法 面接聴取法

調査機関 (一社) 東京都信用金庫協会

分析作成 (株) 総合企画

本概要版は、令和4年12月上旬に調べた区内中小企業の景気動向と、これから先の3ヶ月間(令和5年1月～3月期)の予想をまとめたものです。

好調 ← 普通 → 不調

	A	B	C	D	E	F	G
製造業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
小売業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
サービス業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下
建設業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下

製造業	前期		業況DI(Δ18.2)は前期比5.2ポイント増と、悪化傾向がやや弱まり持ち直した。全都(Δ16.8)との比較では、本区がわずかに下回っているもののほぼ同水準となっている。売上額は減少傾向がわずかに弱まり、受注残は減少幅が大きく縮小、収益は減益幅がやや縮小した。販売価格は上昇傾向が幾分強まり、原材料価格は高止まりとなった。資金繰りは前期並の窮屈感が続き、借入難易度は厳しさが多少和らいだ。設備投資を「実施した・予定あり」とした企業は前期から2.6ポイント増加した。
	今期		
	来期		

小売業	前期		業況DI(Δ28.3)は前期比14.4ポイント減と悪化傾向が大幅に強まった。全都(Δ28.7)との比較では、本区がわずかに上回るがほぼ同水準となっている。売上額は減少傾向が若干弱まり、収益は前期並の減益幅で推移した。販売価格は上昇傾向がやや強まり、仕入価格は上昇幅が大幅に拡大した。資金繰りは窮屈感がやや強まったが、借入難易度は厳しさがわずかに和らいだ。設備投資を「実施した・予定あり」とした企業は前期と同様で変化がなかった。
	今期		
	来期		

サービス業	前期		業況DI(Δ32.9)は前期比9.8ポイント減と悪化幅が大幅に拡大した。全都(Δ21.9)との比較では、本区が大きく11.0ポイント下回った。売上額は減少傾向がかなり強まり、収益は減益傾向が若干強まった。料金価格は前期並の水準で推移したが、材料価格は上昇傾向がわずかに強まった。資金繰りは前期同様の窮屈感が続いたが、借入難易度は厳しさが極端に和らいだ。設備投資を「実施した・予定あり」とした企業は前期から3.5ポイント増加した。
	今期		
	来期		

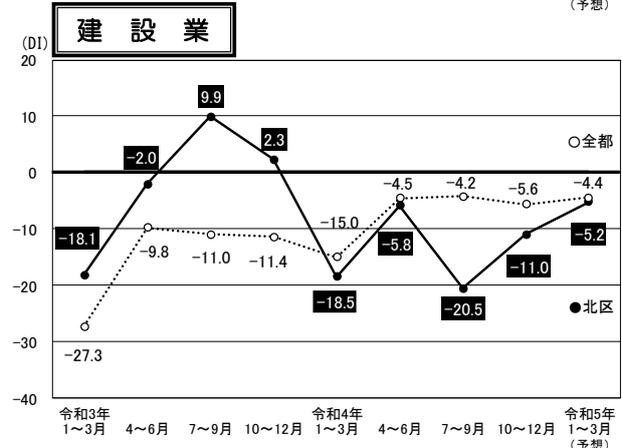
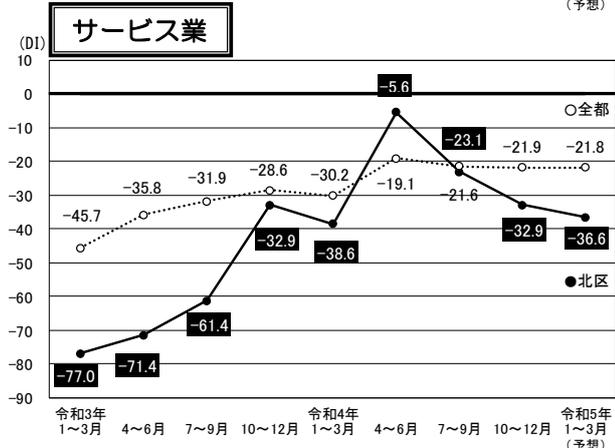
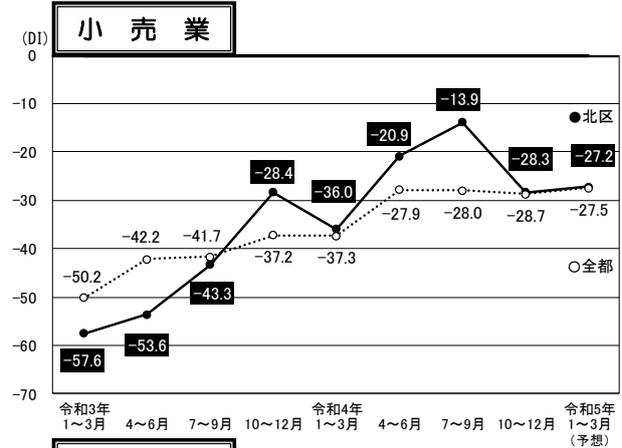
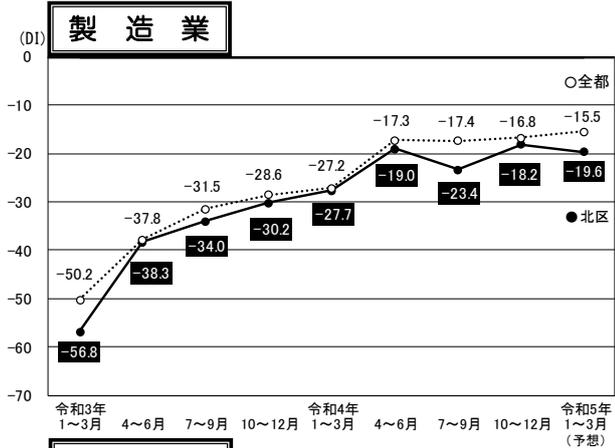
建設業	前期		業況DI(Δ11.0)は前期比9.5ポイント増と悪化傾向がかなり弱まった。全都(Δ5.6)との比較では、本区が5.4ポイント下回っている。売上額は大きく改善して増加に転じ、収益は前期並の水準で推移した。受注残は減少幅が大幅に縮小し、施工高もかなり改善して増加に転じた。請負価格は上昇がかなり強まり、上昇が7期続いた材料価格は高止まりとなった。資金繰りは楽な状況が若干後退し、借入難易度は容易さが大幅に弱まった。設備投資を「実施した・予定あり」とした企業は前期から0.4ポイント増加した。
	今期		
	来期		

## ※DI(Diffusion Index)とは

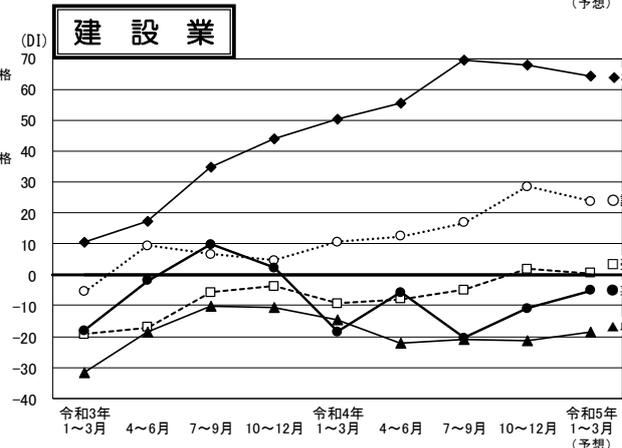
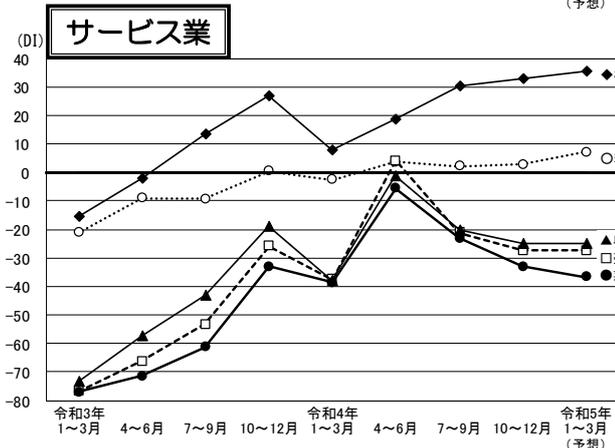
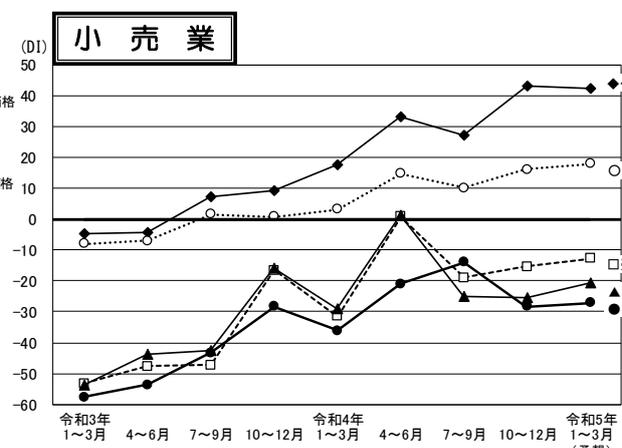
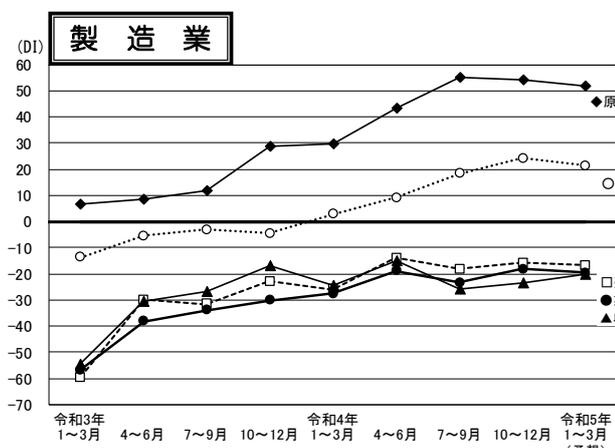
DI(ディーアイ)は、増加(又は「上昇」「楽」など)したと答えた企業割合から、減少(又は「下降」「苦しい」など)したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

例:「良い」28.7%、「どちらでもない」49.4%、「悪い」21.9%の場合→28.7-21.9=6.8 (=DI)

# 北区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測



# 業況と売上額、収益等の動き（実績）と来期の予測



## 北区 業種別 経営上の問題点

	製造業		小売業		サービス業		建設業	
上位項目	原材料高	55.2%	売上の停滞・減少	39.0%	同業者間の競争の激化	38.5%	材料価格の上昇	71.9%
	売上の停滞・減少	38.5%	利幅の縮小	25.4%	売上の停滞・減少		利幅の縮小	28.1%
	利幅の縮小	28.1%	同業者間の競争の激化		材料価格の上昇	30.8%	同業者間の競争の激化	18.8%
	同業者間の競争の激化	16.7%	仕入先からの値上げ要請	23.7%	大企業との競争の激化	15.4%	人手不足	
	大手企業との競争の激化	12.5%	大型店との競争の激化	16.9%	商圏人口の減少 人件費の増加	11.5%	売上の停滞・減少	15.6%

## 北区 業種別 重点経営施策

	製造業		小売業		サービス業		建設業	
上位項目	販路を広げる	64.6%	経費を節減する	54.2%	宣伝・広告を強化する	50.0%	経費を節減する	50.0%
	経費を節減する	46.9%	品揃えを改善する	30.5%	経費を節減する	46.2%	人材を確保する	31.3%
	新製品・技術を開発する 情報力を強化する	12.5%	宣伝・広告を強化する	16.9%	販路を広げる	30.8%	販路を広げる	
			商店街事業を活性化させる	15.3%	技術力を強化する	11.5%	情報力を強化する	28.1%
	人材を確保する	11.5%	仕入先を開拓・選別する	11.9%	店舗・設備を改装する			技術力を高める

## 東京都の景況

### <製造業>

販売価格の上昇により、売上額に持ち直しがみられたものの、上昇を続けてきた原材料価格が高止まりしていることから、収益はやや減少し、業況は前期同様変化なく推移した。資金繰りは前期同様の苦しさが続き、在庫は不足感がやや緩和された。

### <小売業>

前期悪化が強まった木材・建築材料に持ち直しがみられたものの、スポーツ用品・玩具を中心に低迷がみられたため、業況は前期並で推移した。売上額・収益も増減なく推移した。価格面では、仕入価格は8期連続で上昇しているものの販売価格についても上昇がみられており、一部価格転嫁できている様子が窺える。

### <サービス業>

前期悪化が強まった娯楽に持ち直しがみられたものの、自動車整備・駐車場に低迷がみられたため、業況は足踏み状態となった。売上額・収益においても前期並の減少幅で推移した。価格面では、材料価格が7期連続上昇しており、料金価格の上昇が追いついていない。資金繰りは厳しさを増し、人手は不足感を強めた。

### <建設業>

請負価格の上昇がみられるものの、材料価格も8期連続で上昇していることから売上額・収益の改善はみられず前期並となり、業況はわずかに悪化した。前期回復した受注残は再び水面下に落ち込み、施工高も減少した。人手は不足感が強まった。

## 特別調査「2023年の経営見通しについて」

問1 2023年の自社の業況（景気）見通しについて

全業種	『良い』			普通	『悪い』		
	非常に良い	良い	やや良い		やや悪い	悪い	非常に悪い
全業種	-	0.8	4.2	44.4	35.1	13.4	2.1
製造業	-	2.1	4.2	44.8	33.3	12.5	3.1
小売業	-	-	3.4	37.3	39.0	18.6	1.7
サービス業	-	-	7.7	46.2	38.5	7.7	-
建設業	-	-	6.3	56.3	25.0	12.5	-

問2 2023年の自社の売上額対前年比伸び率について

全業種	『増加』				変わらない	『減少』			
	30%以上の増加	20~29%の増加	10~19%の増加	10%未満の増加		10%未満の減少	10~19%の減少	20~29%の減少	30%以上の減少
全業種	-	0.4	5.0	10.5	49.2	26.1	6.3	0.8	1.7
製造業	-	-	8.3	7.3	54.2	18.8	8.3	-	3.1
小売業	-	-	3.4	8.5	47.5	30.5	8.5	-	1.7
サービス業	-	-	3.8	11.5	42.3	38.5	-	3.8	-
建設業	-	3.1	-	21.9	50.0	21.9	3.1	-	-

問3 自社の業況が上向く転換点について

全業種	『短期』			『中期』		『長期』	
	すでに上向いている	6か月以内	1年後	2年後	3年後	3年超	業況改善の見通しは立たない
全業種	8.0	5.9	18.1	10.9	20.2	17.6	19.3
製造業	8.4	4.2	13.7	13.7	23.2	18.9	17.9
小売業	3.4	6.8	22.0	13.6	10.2	18.6	25.4
サービス業	7.7	7.7	34.6	-	7.7	15.4	26.9
建設業	18.8	6.3	3.1	6.3	34.4	18.8	12.5

問4 2023年の日本の景気見通しについて

全業種	『良い』			普通	『悪い』		
	非常に良い	良い	やや良い		やや悪い	悪い	非常に悪い
全業種	-	0.8	3.3	20.5	50.2	23.4	1.7
製造業	-	2.1	3.1	19.8	52.1	21.9	1.0
小売業	-	-	3.4	16.9	50.8	25.4	3.4
サービス業	-	-	-	26.9	53.8	19.2	-
建設業	-	-	6.3	25.0	37.5	31.3	-

問5 2023年の事業環境展望時の経営リスクについて（最大3項目まで）

全業種	原材料・仕入価格のさらなる高騰	原油・天然ガス等のエネルギー価格高騰	コロナなど感染症の感染再拡大	ロシア・ウクライナを含む海外情勢の緊迫化	台風・豪雨・地震・噴火などの自然災害	取引先廃業等による売上げ激減	経営者や従業員の健康問題	コロナ融資の返済	円安・インフレの加速	その他
全業種	75.6	31.9	27.7	9.2	5.5	9.7	9.7	3.8	15.1	1.7
製造業	83.2	43.2	17.9	10.5	2.1	11.6	7.4	3.2	22.1	-
小売業	71.2	23.7	44.1	8.5	11.9	13.6	11.9	1.7	3.4	3.4
サービス業	69.2	26.9	30.8	3.8	7.7	-	15.4	-	3.8	-
建設業	90.6	34.4	28.1	15.6	3.1	6.3	6.3	6.3	15.6	-

本調査についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

東京都北区地域振興部産業振興課

TEL:03(5390)1234 FAX:03(5390)1141

刊行物登録番号

4-2-006